

第4回化学物質管理とリスクコミュニケーションに関する表彰 PRTR大賞2007実施要領

(社)環境情報科学センター

1. 趣旨

PRTR制度は、事業者が自ら化学物質の排出に係わる環境負荷を把握し、管理の促進を行うとともに、その状況に関して市民の理解を得ることを目的としています。本表彰は、法の趣旨を理解し、率先して化学物質管理を行うとともに、その実施状況に関して積極的に市民の理解を得るためのリスクコミュニケーションを行う等により優れた成果をあげている事業者または事業所を表彰することによって、以下の4点に資することを目的としています。

- ・ 事業者または事業所の積極的な化学物質管理を促進すること
- ・ 事業者または事業所の化学物質の管理に関する市民の理解を得る活動を奨励すること
- ・ 一般市民のPRTR制度に対する理解の促進を図ること
- ・ 地域社会における協働による環境リスク削減の取り組みを促進すること

2. 実施体制

(1) 主催・後援

主催：(社)環境情報科学センター

後援：経済産業省、環境省、(社)日本化学会、(社)日本水環境学会、(社)大気環境学会、
(社)環境科学会、(社)化学工学会、日本環境化学会、日本リスク研究学会、
(財)世界自然保護基金ジャパン、(株)化学工業日報社、日経エコロジー、
日経BP環境経営フォーラム（順不同）

(2) 選考委員会

委員長 安井 至（国際連合大学）
委員 有田芳子（主婦連合会）
織田島 修（化学工業日報社）
亀屋隆志（横浜国立大学大学院）
北野 大（明治大学理工学部）
小島正美（毎日新聞社）
神保重紀（日経エコロジー）
中地重晴（環境監視研究所）
福井弘道（慶應義塾大学総合政策学部）
村田幸雄（世界自然保護基金ジャパン）

3. スケジュール

募集期間：平成19年7月2日(月)～9月21日(金)消印有効（エントリー：8月31日(金)消印有効）
第一次審査：平成19年10月（10月末日までに書面にて結果通知）
現地調査：平成19年11月中（第一次審査通過者に対し、選考委員と事務局が実施）
第二次審査：平成19年12月（12月末日までに書面にて結果通知）
大賞選考会：平成20年2月1日(金)開催予定（表彰式も同時開催）

4. 表彰の種類

PRTR大賞



化学物質管理・リスクコミュニケーションを積極的に実施し、かつ優れた成果を挙げ、他の規範となる事業者・事業所に対する表彰

PRTR 優秀賞



化学物質管理・リスクコミュニケーションについて積極的に努力している事業者・事業所に対する表彰

PRTR 奨励賞



化学物質管理・リスクコミュニケーションについて今後の努力を奨励する事業者・事業所に対する表彰

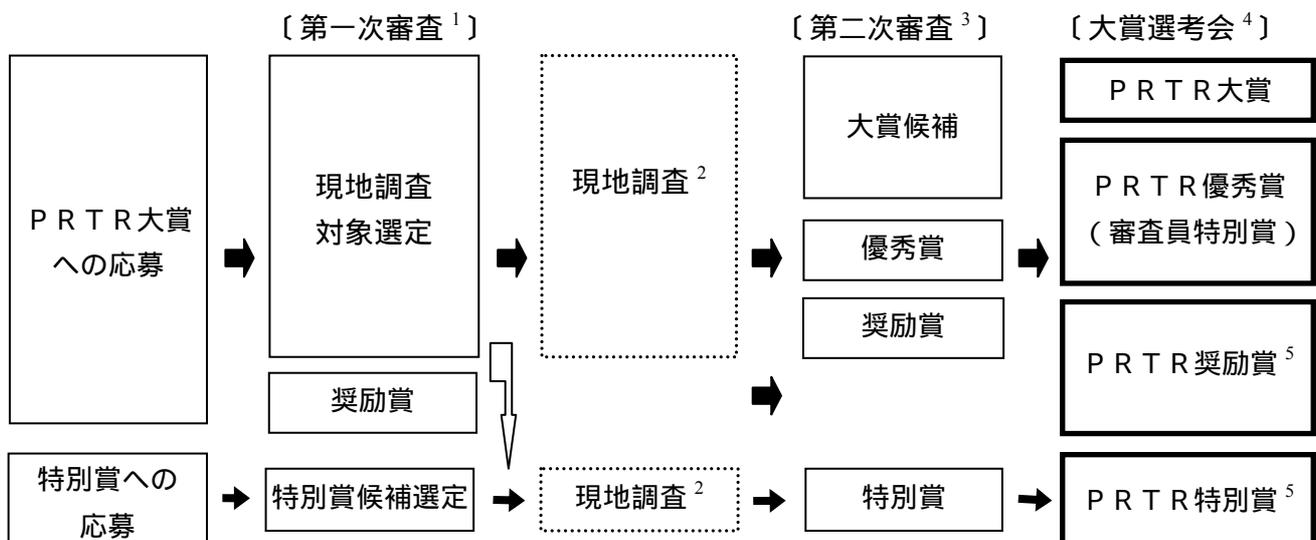
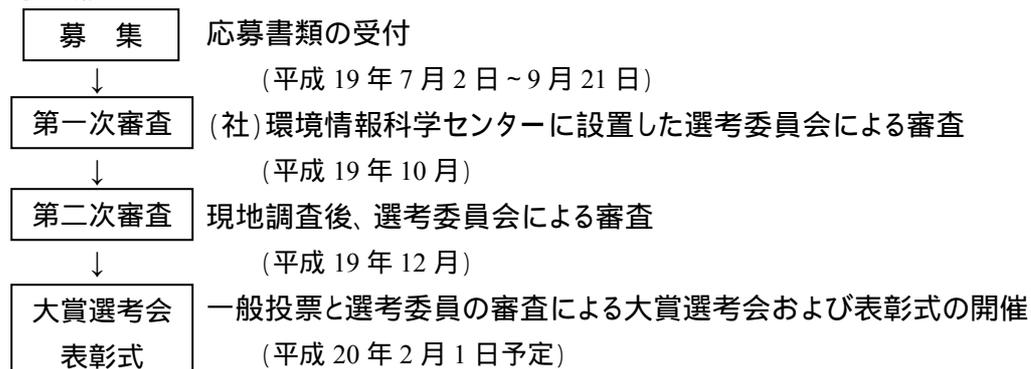
PRTR 特別賞

化学物質管理・リスクコミュニケーションについて特徴的な取り組みのあった事業者・事業所、市民団体、自治体に対する表彰

ロゴの使用について

PRTR 大賞、優秀賞、奨励賞の受賞者に対し、ロゴの使用を認めます。使用規定は別に定めます。

5. 選考の流れ



- 1) 応募書類をもとに選考委員会による第一次審査を行い、現地調査の対象を選定します。
- 2) 第一次審査の結果に基づき現地調査(ヒアリング)を実施します。
- 3) 現地調査の結果をもとに第二次審査を行い、PRTR 大賞候補・優秀賞・奨励賞及び PRTR 特別賞を選定します。
- 4) 大賞選考会において、大賞候補者による取組内容の口頭発表をもとに会場審査員と選考委員が投票を行います。投票結果をもとに選考委員が最終審査し、大賞受賞者を決定します。
- 5) 大賞選考会において、奨励賞及び特別賞受賞者にはポスター発表を行っていただきます。

6. 応募について

(1) 応募資格

過去3年間に PRTR の届出を行った事業所またはその本社であること。

応募の単位は、事業所または本社とします。本社からの応募の場合は、全事業所が一定の化学物質管理とリスクコミュニケーションを実施していることが条件となります。そのため代表的な事業所についても審査を行います。

届出外事業者・事業所、市民団体、自治体からの応募は特別賞の候補となります。

過去の応募者も再応募できます。(ただし前年度の大賞受賞者は大賞候補から外れます。)

(2) 応募方法

〔応募書類の入手〕 PRTR大賞ホームページから応募書類をダウンロードしてください。

〔エントリー受付〕 平成 19 年 8 月 31 日(金)消印有効

様式1 - 1 (応募申込書)を、事務局宛に送付してください。E-mail、FAX でも可。

〔応募書類〕 平成 19 年 9 月 21 日(金)消印有効

様式1 - 2 (調査票) } 印刷物 2 部 及び 電子ファイル を、事務局宛に送付
添付資料 } してください。添付資料の電子ファイルは不要です。
電子ファイルは Microsoft Word で作成し、CD-ROM または E-mail で送付してください。

〔推薦受付〕 平成 19 年 8 月 31 日(金)消印有効

自治体や市民団体などから事業者を推薦する場合は、推薦状(様式問わず)を、事務局宛に送付してください。推薦のあった事業者から応募がない場合には、事務局から応募を働きかけます。

推薦はなくても応募できます。

特別賞に応募する届出外事業者・事業所、市民団体、自治体の方

800 字程度にまとめた応募主旨(様式2)と添付資料を 9 月 21 日(金)までに事務局に送付してください。

〔ダウンロード〕 PRTR 大賞ホームページ

<http://www.ceis.or.jp/hyosho/>

〔書類送付先〕

(社)環境情報科学センター PRTR大賞事務局 担当:山田
〒102-0081 東京都千代田区四番町 8-19 番町ポンピアンビル
Tel:03-3265-4000 Fax:03-3234-5407 E-mail:taisho@ceis.or.jp

提出された資料などの扱いについて

選考委員会及び関係者は、選考のために知り得た情報、資料等の内容を、選考の目的以外に使用しません。賞の確定後は、受賞者の了解が得られた範囲内で扱うものとします。

7. 審査の方針

(1) 評価方針

化学物質管理と地域社会の環境リスク削減に向けた仕組み作りと活動実績の評価

化学物質の適切な管理(例:排出量の削減、より安全な代替物質への転換など)は、除去装置や回収設備等の整備、排水・排気処理技術の開発もさることながら、化学物質管理体制の構築とその適切な運用、従業員教育など、多岐に渡る取り組みが求められます。これらの取り組みを積極的に推進している事業者や事業所を評価します。

また、環境保全全般に関する取り組みのみならず、化学物質の管理や排出量などの情報を地域社会と共有し、地域住民等のいわゆるステークホルダーとともに地域の環境リスク削減に向けた取り組みを推進するためのコミュニケーション活動を、組織としてその重要性を認識し、積極的に実施していることも評価の視点となっています。

特に優れた取り組み、特徴的な取り組みの評価

化学物質管理またはリスクコミュニケーションにおいて既の実績があり、特に優れた成果をあげている事業者または事業所を評価します。また、これまでは化学物質管理の体制が整っていなかったり、リスクコミュニケーションの実績が少なくても、積極的な努力により顕著な改善がみられた、あるいは他にあまり例をみない特徴的な取り組みが行われている場合は、その努力を評価します。

業種や事業規模などに応じた評価

事業者または事業所の業種、業態、規模等の特性を考慮して評価します。

(2) 評価項目

PRTR 大賞の評価項目

・化学物質管理

1. 化学物質の管理方針
2. 化学物質の管理体制とその運用
3. 取扱い化学物質全体の管理計画の立案方法と管理の実施状況
4. PRTR データ等(取扱量・排出量・移動量)の推移と今後の見通し
5. PRTR 情報の公開状況

・リスクコミュニケーション

6. リスクコミュニケーションの実施方針
7. リスクコミュニケーションの実施状況
8. リスクコミュニケーションにより得られた結果を事業活動に反映した事例

・その他

9. 「化学物質管理」または「リスクコミュニケーション」の今後の課題や予定
10. その他 PR ポイント

PRTR 特別賞の評価項目

届出外事業者・事業所の方は、PRTR 大賞の評価項目を目安に評価します。また、市民団体、自治体の方は、以下の項目を目安にした評価を予定しています。

前述した項目はあくまでも目安であり、該当がない場合でも特徴的な取り組みと判断される場合には審査対象となります。

市民団体、自治体の方の評価項目の目安

環境リスクを題材にした活動に関する項目

1. 化学物質やその環境リスクに関する勉強会の開催等
(例) 講師を招いた勉強会、地域における化学物質の使用・排出状況等についての勉強会、化学物質の有害性情報等の収集 など
2. PRTR データの活用など
(例) 事業所別排出量ランキングや化学物質排出マップの作成、化学物質の有害性も加味した PRTR データの集計 など

地域の環境リスクの低減に向けたコミュニケーションに関する項目

3. コミュニケーションの実績
(例) 事業者とのコミュニケーション実施の経緯、コミュニケーションの形態(工場見学会や懇談会など)、実施内容 など
4. コミュニケーションの評価と活動への反映
(例) 団体内でのコミュニケーションの評価、活動への反映 など
5. コミュニケーションに関する今後の取り組みの考え・課題など
(例) コミュニケーション継続の可能性 / 計画 など

その他

6. 活動成果に関する情報の公開
(例) 団体ホームページ、地域勉強会、ニュースレター、回覧板等を通じて広く報告
7. その他特徴的な取組
(例) 事業者との共同作業、地域イベントの開催 など

健康補償や訴訟に発展した問題は、既に発現した問題と捉え、対象にはなりません。

問い合わせ先: (社)環境情報科学センター PRTR大賞事務局 担当: 山田
〒102-0081 東京都千代田区四番町 8-19 番町ポンピアンビル
Tel: 03-3265-4000 Fax: 03-3234-5407 E-mail: taisho@ceis.or.jp